

主任者 コーナー

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 55 回放射線管理研修会)のお知らせ (4)

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成 26 年度放射線安全取扱部会年次大会は北海道支部が担当し準備を進めています。これまで過去 2 回北海道支部は年次大会を開催して参りましたが、今回も交通の利便性の良い札幌市で開催いたします。今回のテーマは「放射線安全教育と放射線利用のさらなる向上を目指して!!」にいたしました。長期化する東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の処理が長期化する中、放射線利用に対する正しい教育と管理がこれほど望まれる時期はありません。また、放射線利用も益々重要になってきている今日ですが、安全取扱の管理ももう一度、見直して放射線利用を広げていく必要があるだろうと思います。こうした考えに立って、シンプルなテーマを設定いたしました。

今回の大会では今までの年次大会と同様に様々な内容を取扱います。今まで医学、薬学での放射線利用は多く取り扱われて参りましたが、今回初めての企画として獣医療領域での放射線利用のシンポジウム、また、テーマにありますこれからの放射線安全教育で重要な次世代の教育を担う学校教育での放射線教育のシンポジウムも取扱います。また、原子力エネルギーに限らず、あらゆる放射線利用に係わってくる放射性廃棄物の問題も取り扱ったシンポジウムも開催いたします。また、北海道らしい話題としてオホーツクの自然環境形成の原点である流水の形成の仕組みの専門家である北海道大学低温科学研究所の若土正暁氏を招き、「豊かな海

の秘密」と題して、市民公開の特別講演も企画しております。

年次大会概要 (参加費: 5,000 円)

○開催日: 平成 26 年 10 月 30 日(木), 31 日(金)

○会場: 北海道立道民活動センター

「かでの 2・7 大ホール」

札幌市中央区北 2 条西 7 丁目

道民活動センタービル

(JR 札幌駅: 徒歩 12 分)

○テーマ: 放射線安全教育と放射線利用のさらなる向上を目指して!!

プログラム概要 (予定)

【10 月 30 日(木)】(1 日目)

9:00～ 参加受付

10:00～10:40 開会・部会総会

10:40～11:40 特別講演 I 「放射線安全行政関連」

(原子力規制庁放射線対策・保障措置課放射線規制室)

11:40～12:00 ポスター発表の紹介

12:00～13:00 休憩

相談コーナー

13:00～14:30 ポスター発表

14:30～16:15 シンポジウム I (一般公開)

「ここまで来た獣医療での放射線利用」(仮題)

16:30～17:30 特別講演 II (一般公開)

主任者 コーナー

「豊かな海の秘密」

若土正暁氏（北海道大学）

18:00～20:00 交流会（於 ホテル札幌ガーデンパレス）

【10月31日（金）】（2日目）

9:00～ 参加受付

9:30～10:50 シンポジウムⅡ「学校教育における放射線教育」（仮題）

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 特別講演Ⅲ「これからの北海道の陽子線治療」（仮題）

12:00～13:00 休憩

13:00～15:00 シンポジウムⅢ「放射性廃棄物の現状と課題」（仮題）

15:00～15:20 大会のまとめ、次回大会紹介、閉会

特別講演Ⅰは例年通り、原子力規制庁の担当官から最近の放射線安全行政に関連した話題を提供していただく予定をしております。特別講演Ⅱは「豊かな海の秘密」と題して、流水形成のメカニズムとそのオホーツク海の自然環境における重要性について、北海道大学名誉教授の若土正暁先生を招き、一般市民の方にも教養を深めてもらえるような内容の講演をしていただく予定です。特別講演Ⅲは北海道で初めての粒子線治療施設である北海道大学陽子線治療施設の立ち上げに携わった先生に講師をお願いして企画を進めております。

本大会では3つのシンポジウムを企画しております。シンポジウムⅠは今まで一般には余り知られていない獣医療での放射性同位元素を用いた診断や放射線を用いた治療について、放射線に携わっておられる管理者の皆様にご存知のとおり、一般市民に開放してイヌ・ネコの獣医療での先進的な診断治療の発展を理解していただく場としたいと考えております。シ

ンポジウムⅡは企画専門委員会が企画・計画しているものですが、学校教育における放射線教育についての話題です。学校教育における放射線教育は東日本大震災での福島第一原子力発電所事故による影響が長期化する中で、今後、長期にわたって正しい放射線の知識を伝えていく重要な事業です。現在、中学・高等学校の教員を対象とした教員研修会が放射線安全取扱部会や関連団体が主催となって各地で開始されてきております。これらを紹介していただくとともに、今後私たちが関わる学校教育での放射線教育の問題点やあるべき方向について議論できればと思っております。シンポジウムⅢは放射性廃棄物処理に関わる話題を取り上げ、「放射性廃棄物の現状と課題」と題して開催する予定です。アイソトープを用いた研究・医療活動等によって発生した放射性廃棄物は集荷・貯蔵されてきていますが、現在までのところ処分には至っていません。これは、原子力発電に伴って発生する高レベル放射性廃棄物や福島第一原子力発電所の事故で生じた廃棄物の処分と同様に大きな課題となっています。本シンポジウムでは、放射性廃棄物処分の全体像並びにそれぞれの現場における現状と課題を講師の先生方にお話ししていただく予定です。

ポスター発表募集

日頃、放射線管理等の実務を担当されている方々の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。放射線施設での施設維持管理の新しいアイデア、放射線教育、放射線利用、事業所紹介、福島支援活動や支部活動など多くの話題でポスターを募集いたします。多くの方の参加を期待しております。

なお、申込みは期限までに、日本アイソトープ協会のホームページ (<http://www.jras.or.jp>) 「平成26年度放射線安全取扱部会年次大会（第

55 回放射線管理研修会)のお知らせ」の「ポスター発表募集」からお願いします。お申込みいただいた内容(表題,発表(責任)者)は「ポスター発表一覧」として10月号に掲載する予定です。

○発表申込期限:8月8日(金)

○要旨提出期限:8月25日(月)

要旨原稿はA4判縦で図表を含めて2枚以内で作成してください。書式は1行36文字,1ページ35行,文字の大きさは12ポイント,余白は上下左右とも30mmとします。図表も含めてワープロ原稿として,事務局にE-mailで送信してください。

前回,鹿児島の大会で非常に好評でありましたので,前回同様に,ポスターの概要を実行委員があらかじめ紹介する時間を1日目の最後に設けました。全体をオーバービューし,あらかじめどのようなポスターがあるのかの情報を得てから,午後の発表を見ることができることとなります。また,例年通り,偶数と奇数番号で説明の時間帯を分けて行いますので,ポスターの講演者自身もほかのポスター発表を見ることができます。

交流会(参加費:5,000円)

10月30日(木)の夕方にホテル札幌ガーデンパレスで交流会を開催します。交流会会場は年次大会会場から徒歩5分程度で,すぐそばです。秋の北海道らしいおいしい料理を用意いたしますので,しばしの札幌の夜をお楽しみください。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45

☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053

E-mail gakujuitsu@jrias.or.jp

【札幌市へのアクセスと宿泊に関して】

札幌市へのアクセスは新千歳空港からJRの電車の利用が便利です。年次大会会場へのアクセスが便利な市営地下鉄さっぽろ駅や大通駅周辺にはホテルが多数あります。

また,開催予定の10月末の北海道は日本で最初の紅葉が訪れ,次第に山から里へ木々の色づきが広がって参ります。中心部の街路樹や北海道大学,中島公園,知事公館,北海道庁などの紅葉も鮮やかですので,是非ともこの季節の札幌市の自然も楽しんでいただきたいと思います。

また,秋の札幌市といえばおいしい食材が回ってくる頃です。刺身やかになどの魚介類,ジンギスカンなど機会を見つけてご賞味いただきたいと思います。会場の近くには東京以北最大の繁華街,すすきのがあります。是非とも足を伸ばし,おいしい魚介類や有名な札幌ラーメンも味わっていただきたいと思います。

実行委員一同,皆様のご参加をお待ちしております。大会の詳細や有用な情報については下記のホームページを開設いたしました。随時,チェックしていただければと思います。

<http://vetradserver.vetmed.hokudai.ac.jp/jrias2014/index.html>